

科目名	日本人の生活と習慣	科目コード	1330	単位数	2
担当者名	加藤 由紀子	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

札幌や北海道を概観しながら、北海道と他地域の共通点や差異を理解します。日常生活をとりまく様々な行事や祭などを概観しながら、その中にある人々の考えを理解し、さらに産業や消費生活などについても関連したトピックを使って学びます。

● 到達目標

語学の修得だけでなく、言葉の裏側にある、日本人の伝統的な考え方や自然感などを学ぶことを目標とします。また、アカデミックプレゼンテーションなど、コミュニケーションスキルを向上させていきます。

● 授業内容

- 1週目 札幌の概要（札幌市の名前の由来・地勢・産業）
 - 2週目 フィールドワーク地理巡検（豊平地区）
 - 3週目 北海道の概要（札幌市との関係・北海道の特徴）
 - 4週目 日本の年中行事と祝祭日（概要・余暇活動）
 - 5週目 フィールドワーク地理巡検（平岸地区）
 - 6週目 日本人の消費生活（衣食住のうち衣について学ぶ）
 - 7週目 日本人の消費生活（衣食住のうち食について学ぶ）
 - 8週目 日本人の消費生活（衣食住のうち住について学ぶ）
 - 9週目 日本の産業を概観する（第一次産業全般）
 - 10週目 日本の産業を概観する（第二次産業全般）
 - 11週目 日本の産業を概観する（第三次産業全般）
 - 12週目 プレゼンテーションの基礎知識と技法：バーバル・ノンバーバルコミュニケーション 他
 - 13週目 プレゼンテーション基礎知識と技法：テーマ設定 他
 - 14週目 プレゼンテーション基礎知識と技法：表現技法とツール 他
 - 15週目 プレゼンテーション発表会
 - 16週目 プレゼンテーションの自己評価とフィードバック
- フィードバック（講評等）を実施します。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

この講義では、授業への出席の前に、さまざまなニュースや社会の動きや変化を常に意識して、情報の入手をすることが必要です。翌週の講義の内容について、関連する情報を報道などで、必ず把握してきてください。予習・復習の内容については、講義中に指示します。

また、毎授業後に振り返りシートを2種類配布します。
 授業当日の振り返りシートは授業終了時に提出してください。
 翌週、または指定した日に、授業後復習した振り返りシートを必ず提出してください。
 後半のプレゼンテーションについては、必ず各授業の前に、決められた制作を完了させてきてください。

● 成績評価の方法・基準

授業の振り返りシート（40％）各種課題（30％）プレゼンテーション（30％）で評価します

● 履修上の留意点

成績の評価は、全16週のうち、10週以上授業に参加した学生を対象とします。
 セメスター中に、フィールドワーク（視察や講演会視聴など）を実施することがあります。フィールドワークは、相手先の都合により土日を含む授業以外の時間に設定される可能性もあること、交通費など個人負担があることを了承して履修してください。フィールドワークは全員参加です。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題については、コメントをつけてメールなどでフィードバックします。

● テキスト

特になし

● 参考書

授業中に適宜、必要なものを紹介します。

● 更新日付

2020/02/04 06:15